



双塔

カトリック新潟教会

2021年9月
No. 400

助け合うこと

協力司祭 ロレンゾ・ホセ・ルイス

2021年4月14日、フィリピン、マニラ首都圏にあるケソン市に住む一人の女性が、歩道の脇に野菜や米、缶詰などを並べた小さなテーブルを置き、こんな看板を立てました。「与えられるものを与え、要るものを取ってください」

それは、食べ物が余っている人には寄付を、食べるものがない人には必要なものを持ってほしいという呼びかけでした。このシンプルな親切心から、「コミュニティ・パントリー運動」が生まれたのです。パントリー（英）というのは食料貯蔵室のことです。

コロナウイルスの影響で、多くの人が仕事を失って、政府からの援助が限られているため、コミュニティ・パントリーは、必要に迫られて生まれた国民の団結を象徴しています。疲弊した人々が他者を助けることで慰めを得ているのです。マニラ首都圏に1つしかなかったコミュニティ・パントリーは、4月末にはフィリピン全土に350ほどのコミュニティ・パントリーが存在するようになりました。

この活動は、“私に何ができるだろう？”と尋ねた一人の人から始まったことです。彼女によると、“文句を言うのはもう飽きた。何もしないで” いることにも疲れた”、ということでした。そして、彼女が始めたことを他の人が真似したのです。この結果は、単純な親切心が何倍にもなった力を示す非常に良い例です。私たちは、何も始めなければ何を達成できるかわかりません。

日本にも似ていることがありました。私は朝のテレビのワイドショーで面白いニュースを見ました。名古屋のある小さな映画館に、驚くような依頼があったのです。俳優の斎藤工さんが、1週間、その映画館で上映されるすべての映画のチケットを買い上げしました。コロナウイルスのパンデミック中の映画館を助けるための手段だったのです。映画館は観客が少なく、赤字続きでした。俳優は、映画館を助けるために何かしたいと思いました。そして、自分が買った座席には誰でも座っていいと言ったのです。これも、困っている人を助けるための小さな親切心です。

9月5日にはカルカタの聖テレサ（マザーテレサ）の祝日です。彼女も一人で始めた貧しい人たちの奉仕は今、多くのシスターやボランティアたちが続けています。彼女は言ったのは：「すべての人が偉大なことをできるわけではありません。しかし、小さなことを大きな愛で行うことはできます」

●日本カトリック平和旬間のミサ 8月8日(日)

平和旬間のミサが成井司教様の司式でセンター2階で行われました。1981年教皇ヨハネパウロ2世が日本に来日した時に広島で「過去を振り返る事は将来に対して責任を担うことである」と平和のメッセージを発信しました。戦争という過ちを振り返ること、将来の世代に平和な世界を残すことそのために今祈り行動することが求められています。教皇の訪問を受けて、日本のカトリック教会は、毎年8月6日から8月15日までの10日間を平和旬間と定め、平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会としています。

司教様は説教の中で「平和な世界ってどんな世界でしょう？みんなが大切にされる世界です。みんなというのはここにいる人や家族や友達だけでなくこの世界にいるすべての人の事です。あなたは私にとって大切な人です。とみんながお互いに大切にできる世界の事を平和な世界と言います。」また子供達にむけて平和の世界のイメージパズルの例えを用いて「1ピースでもなくなってしまうとパズルが台無しになってしまうのと同じで人間も、1人1人が大切に、だれが1人でも大切にされない世界が平和でなくなってしまう。パズルのように1人1人に居場所があって、周りの人とつながって、大切にされる世界を平和な世界と言います。」と話されました。

どのように平和な世界を作っていくのかについて第2朗読の内容にふれて、お互いに親切にすること、大切にすること、許し合うことで平和な世界を作っていくことができるとお話にされました。

ミサの最後に十日町教会の佐藤神父様が、数年ぶりに司教様の司式のもとミサを行うことができることについて嬉しそうに話されていました。



●聖母の被昇天 8月21日(日) 9時半ミサ

成井司教様の司式で聖母の被昇天のミサが執り行われた。

この日は涼しかったため、聖堂での開祭となった。司教様は説教の中で聖母子像の写真を掲げながら次のように語られた。

「ローマにいた頃、プリシッラのカタコンベという、ローマの北の方にあるカタコンベを訪問したことがあります。…プリシッラは小さなカタコンベなのですが、壁に描かれたフレスコ画が鮮やかに残っていることで有名です。残っている絵の一つに、3世紀頃に書かれたとみられる、女性が赤子を抱いている絵があるのですが、これは聖母子像ではないか、そして、もし聖母子像であるなら、これが今残っている物の中では、世界で最も古い聖母子像だと言われています。

その、ぼんやりとした1800年前に描かれたフレスコ画を眺めていてですね、…キリスト者は歴史を通じてずっと、神の母、教会の母であるマリアを、自分自身の希望として、模範として、取り次ぎを願う方として、身近に感じてきたんだなあとしみじみと思いました。」

「…マリアはその生涯を通じて主の言葉を信じ、決断、行動しました。しかし…マリアの生涯は、苦しみ、悲しみ、悩みが非常に多いものでした。…神のいのち、神の恵みが豊かに与えられると言うことは、決して悩み、苦しみのない人生を送ることができるということではありません。むしろ、どんな悩みも、どんな苦しみも、神の独り子を通して示された私への愛に比べれば小さなものだ、という信仰によって、わたしたちは希望のうちに幸いなものとして生きていく事ができるのです。聖母マリアはその最大の模範です。」

成井司教様は最後に会衆全員でマグニフィカトを唱えるように呼びかけられ、説教を締めくくられた。



2021年9月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
1日(水)	すべてのいのちを守るための月間 (9/1～10/4)	
5日(日)	年間第23主日 被造物を大切にすゝる世界祈願日	<ul style="list-style-type: none"> ・小教区評議会 (9:30 ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・センター&外のトイレ清掃 (英語ミサ後)
8日(金)	聖マリアの誕生(祝)	
11日(土)		・信仰養成講座「知ってるつもり?!」(10:00 研究室)
12日(日)	年間第24主日	・総務部会(10:00～ 研究室)
14日(火)	十字架称賛(祝)	
19日(日)	年間第25主日	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老のミサ(各ミサ) ・聖堂、センター&外のトイレ掃除(各ミサ後) ・広報部会(9:30 ミサ後)
21日(火)	聖マタイ使徒福音記者(祝)	
22日(水)		・パウロ成井大介司教様叙階記念日
26日(日)	年間第26主日	<ul style="list-style-type: none"> ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務室) ・国際協力部会(10:00～ 研究室)
29日(水)	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使(祝)	

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間：主日日曜日 (7:00 9:30 11:00) 英語ミサ (第1日曜日 12:00)
週日(7:00、金曜日のみ 10:00)

月刊「双塔」毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
<http://cathedral-niigata.jp/> TEL025-222-5024 /FAX025-222-5054

